

「進路の日」(3年生)を終えて  
「進路希望調査」(1・2・3年生)  
が始まる時期だからこそ



進学(推薦)でも  
就職(斡旋)でも

推薦や斡旋を考える時、数的条件(評定・欠席など)ばかりを見ていませんか?  
本当に見るべきものは、「自分自身の日常」ではありませんか?

「学校推薦」、「学校斡旋」はあなたが判断するものではありません。  
(自己推薦・自己開拓とは根本が異なります)

推薦者、斡旋者は「学校を代表する人物」のことです。  
学校に関わる全ての人が「ふさわしい」と納得できる人物のことを指します。  
(先生方はもちろん、周りにいる生徒全て)

以下の内容をよく読んで、自分が「推薦者にふさわしい人物」になれるか?  
今一度確認してください

救いは人間の[意図的な善行や努力]に左右されるものではない  
救われる証明とは、人間の[正直な信仰そのもの]である  
救われる者ならば[信仰は当然]であり、  
救われる者になるために[信仰を必要とする]のではない (【予定説】カルヴァン(仏))



推薦・斡旋は生徒の[**打算的な善行や努力**]で決定するものではない  
推薦・斡旋される証明とは、生徒の[**正直な(裏表のない)生活そのもの**]である  
推薦・斡旋される者ならば[**生活に努力・正しさがあるのは当然**]であり、  
推薦・斡旋される者になるために[**努力・正しさのある生活を必要とする**]のではない

例えば、推薦・斡旋されたいから勉強をする(努力をする)⇒されないから努力も正しさも必要ない?  
例えば、推薦・斡旋されたいから校則を守る(正しくする)⇒されたので適当に振る舞ってもいい?

⇒ 打算的な人物に**通用する能力**なし!なぜなら、進学、就職先で実直な生活が続かない

**打算なく**「正しく努力を続けてきた」⇒ 推薦希望しようがしまいが「努力・正しさ」は**変わらない**  
推薦されようがされまいが「努力・正しさ」は**続いていく**

⇒ **打算なき人物に本当の実力あり!**なぜなら、進学、就職先で**当たり前**に実直な生活ができる  
(※「一般受験」でも「推薦受験」でも、「斡旋」でも「自己開拓」でも進学・就職後「**求められる根本**」は変わらない)

**!!選ばれ通用する者とは、損得勘定で自分の行動を変えない、実直に継続できる者!!**

⇒ 今までの「努力と正しさ」はもちろん、これからの「継続した姿勢」こそ大切です。  
(外EPA・スカート丈・スマホの使い方。授業態度・言葉使い。講習参加・資格取得など、今までどうでしたか?、これからどうしますか?)

他者が見ていないからこそ**自分を律すること**が出来る、それが**真の大人**。  
自分のことは自分で救いたまえ。